

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION



Life and Work

LIFE STYLE BOOK FOR WOMEN

造船業界で働く、女性たちの物語

Presented by nichizokyo

運転

- 04 海外とつながれる仕事がしたい
- 06 「クレーン」本でやってみるか」社長の一言に背中押され、クレーン運転士に
- 08 フォークリフトも自由自在頼りにされる紅一点

縫製

- 09 縫うものは変わっても日々ミシンを踏める楽しみ
- 10 手芸好きが高じてこの仕事に
- 12 防熱材を貼る仕事は「パズルみたいなんです」

CAD

- 13 CAD で描いた図面が船になる護衛船の進水式で感動！
- 14 通勤は作業服だけど休日は街でショッピング
- 15 PC スキルを活かす仕事を探したら造船に辿り着きました

塗装

- 16 手に職をつけて、長く働ける
- 18 塗装工と息を合わせて作業します
- 19 職場では作業着でも出勤中はデングアルの服で
子どもの発熱にも周りからの温かい助け

切断

- 20 ベテランから若手まで。4人の女性が活躍中
- 22 “機械”と“頭”を使う仕事「私に向いている」
- 23 一人仕事、やりがい十分です

溶接

- 24 美容・アパレルから転身。30代で見つけた理想の仕事
- 25 同じ溶接でも残業ナシの会社
- 26 原動力は「モノづくりが楽しい」
- 28 見えないところも溶接する高い技術
- 29 造船溶接37年。一生続けられる仕事です
- 30 「大変な仕事でも、家族のためならがんばれる」
- 31 Woman's voice「意外と！ここがよかった造船業」



運転

フォークリフトや大きなトラック、クレーンなどの運転をします。



縫製

船体に使う保温材・断熱材を切り出して縫う作業です。

溶接

さまざまな方法を用いて、部品と部品を繋いでいきます。溶接は船舶建造において欠かすことのできない作業です。



CAD

環境や時代のニーズを考慮して、お客様に満足いただけるよう船の“形”や“構造”を提案します。

塗装

装飾や保護のために材料の表面に塗料し、海藻類などが船底に付いて汚すのを防いだり、海水による錆やカビの腐食を防ぎます。



切断

作られたCADデータを元に、NC切断機を使用して、鉄板から船の部品を切り出します。

女性も活躍する
造船業の主なお仕事



造船業界で
“夢”を
叶える
だから
私たちは、
ここを
選んだ

「海外とつながれる仕事がしたい」

「2人だからこそがんばれるし、毎日楽しい」。そう笑って話す長崎船舶装備の2人は、現場に配属された初の女性社員で、2019年春に新卒で入社したばかり。永野さんは大学で英語と中国語を専攻。「海外とつながれる仕事がしたい」と造船業界に飛び込んだそう。江口さんは採用説明会に参加し、「いい人たちが働きやすそう。人間関係って大事じゃないですか」と入社を決意。

そんな2人の仕事は、船の内装工事の施工管理。資材を揃えて運んだり、現場の大きに指示を出したり、工事全体を管理する“現場監督”です。

ジム、ツーリング、買い物。プライベートも楽しむ

重いものを持ち上げたり、大きなトラックを運転したり、体を一杯動かす毎日ですが、永野さんは「平日は仕事終わりにジムに、休日はバイクでツーリングに出かけています」とプライベートもとてもアクティブ。一方、江口さんは友人とのんびり過ごすことが多いそう。対照的な2人ですが、休日是一緒に買い物に出かけたりと、私生活でも息はピッタリ！

「将来的には本社の海外事業部で働きたい」（永野さん）と、2人の視線の先には大きな夢が広がっています。今春には新たに高卒の女性社員が入社し、心強い仲間が増えました。若いパワーが、造船業界に明るい光を照らしています。



フォークリフトは入社後に資格を取得！今では軽やかに乗りこなす。



大きなトラックの運転もお手の物！狭い道を縦横無尽に走り回る。

女性も働きやすい職場ですよ！
一緒に働きましょう！



Driving 運転作業



「男性が多いため逆に気がつかうことがなく、楽しく働いています。」

「社長がチャンスを与えてくれたので、その期待に応えたかったです」
 三矢工業の木村さんは、女性では珍しいクレーン運転士。免許が必要な特殊な仕事の1つです。当初は鉄板曲げ加工とクレーンの運転を担当していましたが、2つの仕事に体力が追いつかず、退社を考慮するようになったそう。そんなとき、社長が「クレーン1本に絞ってやってみるか」と背中を押してくれました。「力仕事では男性にかなわなくても、機械を動かす仕事なら対等に働ける」と、社長の一言をきっかけに、資格を一杯生かして「ここで働き続けよう」と決めました。

操作を一步間違えれば、大きな事故につながりかねない責任重大な仕事です。「いい緊張感がありますね。下にいる作業員とピタリ息を合わせて、1つ終えるごとに、ほっと一息。オンとオフの切り替えが大事なんです」

挑戦する機会を与えてくれた感謝を胸に、安全第一で今日もクレーンを動かしています。



室内はエアコン完備で快適なんですよ！

三矢工業株式会社
木村 紀美代さん

「クレーン1本でやってみるか」 社長の一言に背中押され、 クレーン運転士に



右上に見えるのが、木村さんが乗っているクレーン操縦室。工場全体を見渡しながら、細心の注意を払って巨大な鉄板などを吊り上げ、運んでいる。

Sewing 縫製

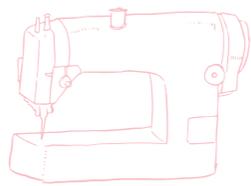
大きな針を使って、グラスファイバーを包んだ布を縫じていく。造船Ⅱ鉄工のイメージですが、船体に使う保温材も大事な部品のひとつ。ここで長年洋服の縫製に携わってきた技術を活かして働くのが、尾方京子さんです。まだ入社1年目ですが、手つきは熟練です。

「求人情報の従業員数に『社員・男性〇名、女性1名』とあったので応募しました。先輩の女性社員がいたことが決め手に。尾方さんが入社するまではたったひとりだったという先輩はもちろん大歓迎。母親とふたり暮らしということもあり、待遇面も考慮して正社員採用がある造船所を選んだそうです。

「休日には母と一緒に過ごしています。時間ができたので、今後は自分のやりたいことも出てくるかもしれませんね」

縫うものは変わっても
日々ミシンを踏める楽しさ

様々な大きさの
保温材はすべて手作り



有限会社平山保温工業所
尾方 京子さん

Driving 運転作業

フォークリフトも自由自在
頼りにされる紅一点

「家庭と子供がいちばん！」そう言い切る柴田法枝さんは、高校生・中学生・小学生と3人の子育て中。片手で楽々とフォークリフトを操作する姿は、まさに肝っ玉母さんです。フォークリフトの資格もここに勤めてから取得したそう。

そんな柴田さんですが、かつては女性中心の職場で気を遣いすぎたからか、円形脱毛症になったと言います。「今は現場の女性は私だけというのもあって、男性では気付かないことなど意見を言いやすいですね」ペンキ塗りなどの作業も「きれいだね」と褒められてうれしいと言います。ざつくばらんな性格というのがありますが、若い後輩男子たちからも頼りにされる彼女の存在は、きつと紅一点という理由だけではないはず。

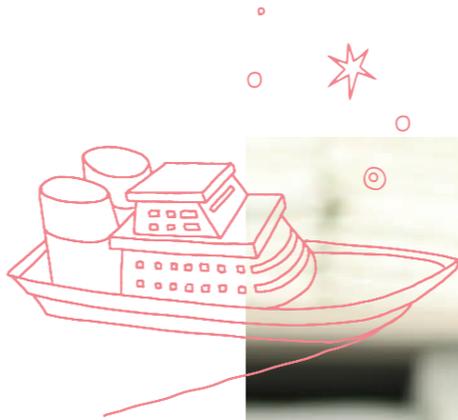
これが私にとって
仕事の相棒



大同塗装株式会社
柴田 法枝さん



有限会社三幸冷熱
金光 里恵さん



造船にはこんな仕事も！針と糸で「船を縫う」

手芸好きが高じてこの仕事に

大きな船に関わっている感動

船なのに縫製の仕事がある、と聞くと、帆船の帆を縫うのかなとか想像しちゃいますよね。しかしここ佐伯市の会社・三幸冷熱が手がけているのは船の空調設備。大型商業施設と同じく、船も空調は一元集中管理で、ダクトを通して冷房も暖房も送られてきます。そのダクト周りを取り付ける断熱材をサイズ通りに切り出して縫う仕事です。

「元々アクセサリ作りが好きで、子どもが手を離れるタイミングで『造船関係で縫う仕事があるよ』と紹介されたんです。なんだか面白そうだなって」と話しながらサツサツと断熱材を縫っていく金光さん。この仕事を説明するときに「ひたすら大きいものを縫う仕事です、と説明します」と笑顔です。

縫い上げる断熱材は船まるまる1隻分あります。数ヶ月かけて数万個単位で縫い上げ、仕上がったものを同社の担当者が船上に取り付けます。

また造船の他の工程とも関わりがあるので、半年先の最終納期を考えて自分たちで作業数を決めていきます。この会社に入って3年目ですが、マニユアル的に決まったものがない仕事なので、自分たちでやりやすい方法を考えるのが楽しいのだとか。

「糸も布も実はグラスファイバーでできているので繊維が細かく、ナイロン製の作業着を着ていても繊維の断片で最初は肌がかゆくなくなっただけ、自宅に着いたらすぐお風呂、ハンドクリームは欠かせないですね」

時には年上の同僚に子育ての悩みを聞いてもらったりもするとか。結婚前は花屋に勤めていたという金光さん、人間関係が複雑なオフィスワークより手を動かす仕事が好きなようです。

「普段の仕事は造船所の外なので船を見ることはないんですけど、車での通勤時に造船所の前を通りかかっただけ『昨日よりも船があれだけできている！』と見るのが好きです。あの船に取り付けるのを縫ってるんだな、がんばろう、と思います」



普通の糸に見えますが断熱素材でできています



約半年で1隻の船の分を縫います



造船にこんな針仕事があるとは！



仕事の計画は自分たちで立てています



裁縫好きの方に
向いています

CAD 図面作成

2児の母でもある牧野久美さんはCADオペレーター。30歳になって職業訓練校で技術を学び、この仕事に就きました。きっかけは結婚・出産・子育てという女性ならではの転機。「育児産休の制度がきちんとしている職場を探しました。参観日など子供の行事でも休みが取れます」と家庭と両立して働いています。そんな牧野さんの願いは「工場に行ってみたい！」普段はオフィスワークなので現場に行くことはないのですが、護衛艦の進水式を見て、船に興味を沸かしたそう。「CADの作業は部屋の配置図を描くようなもの。それが工場でどうやってああいう大きな船になるのか、想像できなくて。」こういった好奇心も、造船業のスケール感だからこそ。

**CADで描いた図面が船になる
護衛艦の進水式で感動！**



三友興業株式会社
牧野 久美さん

可愛らしい卓上カレンダー
動物たちはちょっとした癒し



Sewing 縫製

**防熱材を貼る仕事は「パズル
みたいなんです」**

巨大な船内に、無数に張り巡らされている配管。そこにシート状の防熱材を手際よく切り分け、1ミリの隙間を空けずにピッタリと貼っていく。
「パズルをつくるみたいなんです」と笑顔で話すのは、西海市に一家で移住した武藤さん。「どうやったら早く、正確に貼れるか。頭の中で考えながら、好きなように切り貼りするのが楽しくて」

**心の中で歌を歌いながら、
リズムよく**

その横で「うん、うん」と頷く松本さん。造船業界で溶接の仕事をしていた義母に憧れ、この世界に飛び込みました。ある日、ふと目にした「男女活躍中」と書かれた求人広告。「女性でも働けるの！」と飛びつくように入社を決めました。

武藤さんが「仕事がめっちゃくちゃ早いんですよ」と言つと、照れ笑いを浮かべる松本さん。早く仕上げるコツを聞くと、「心の中でいつも歌を歌っています」と驚きの答えが。リズムに乗って、素早く。それが、松本さんが編み出したスタイルです。

そんな2人は、育児や料理の相談をし合うママ友でもあります。授業参観など、子供の行事を優先してくれる会社の理解もあり、家族と過ごす時間も楽しんでいきます。



松本さんが心の中でよく歌っているのは、GLAYの曲だそう。

モノづくりが好きな人は
楽しめますよ！

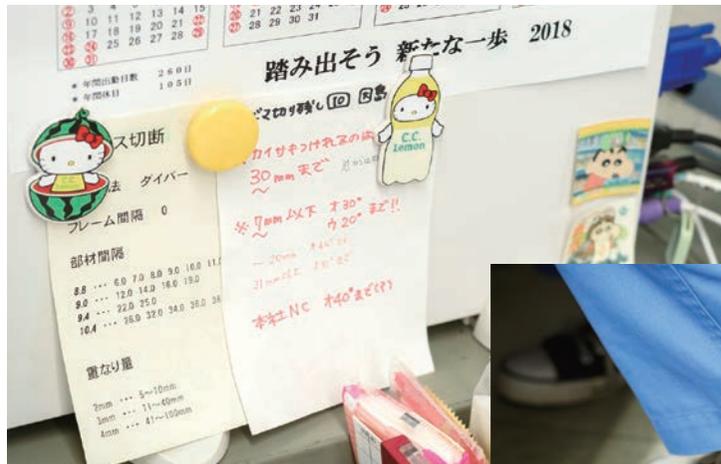


株式会社日本冷熱
松本 光子さん



思わず見とれてしまうほどのスピードでテキパキとこなす武藤世史さん

CAD 図面作成



デスク周りは賑やかです

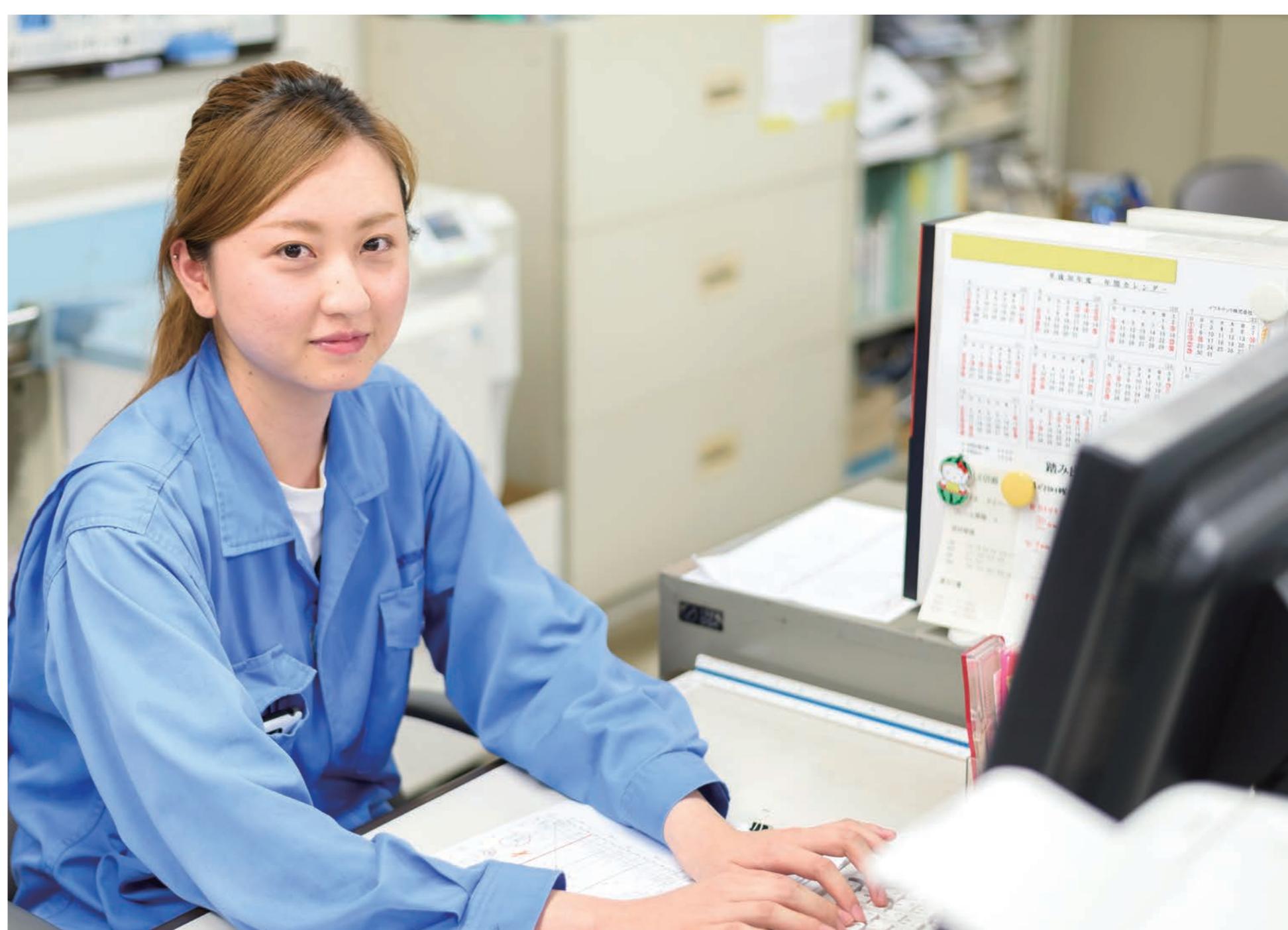


イワキテック株式会社
伊東 英里子さん

通勤は作業服だけど 休日は街でショッピング

「朝はお弁当を作って、17時になったら家に帰って夕食の準備をして」夫とふたり暮らしの伊東英里子さんは「ゆっくりとした暮らし」をするために、地元高校を卒業後、因島にあるハッチカパー（船の蓋）を製造する企業に就職。配属先はCAMオペレーター。大きな鋼板から部品を切り取るためのレイアウトを画面上で作成します。

事務職を希望して入社したところ、専門職に抜擢！実は時間交替での勤務が可能な職種のため、女性が長く働き続けやすいからという会社の配慮によるものでした。通勤は作業着ですが、靴下はフランシゴ柄とおしゃれな伊東さん。休日には岡山や福山でショッピングを楽しむ、等身大の20代女性です。



株式会社大之木ダイモ
井畝 春菜さん



PCスキルを活かす 仕事を探したら 造船に辿り着きました

渡された名刺には「船舶事業部」という所属部署名。何を部署？「何ヶ月も外洋を航行するタンカーなどの大型船舶には『居住区』という乗務員が生活するエリアがあり、私はその部分のインテリア設計を担当しています」とこやかに答えてくれた井畝（いせ）さん。広島市内の大学でPCスキルを磨いたのち、予想外の「船の仕事」に。部署的にも初の女性設計担当とあって、冷房の効きすぎなど、とまどいながらも工夫と「意外にはつきり言う性格（笑）」で乗り切っています。

「通勤時間がかかるのもっぱら移動中は『どうぶつ森』っていうソーシャルゲームをしています。船は年単位のプロジェクトなので、コミケなどのイベントで上京するスケジュールも立てやすいです」とプライベートも充実しているようです。

職場のあちこちにガチャアイテムが



Painting 塗装



土山さんが記したラインや目印に沿って、その後加工していく。



わずかな誤差も許されない。そんな緊張感も、やりがいにつながっている。



いい仕事、いい職場に
巡り会えました！



チョークライン(写真右)など
特殊な道具を使いこなす。
足元には“努力の結晶”が。

手に職をつけて、
長く働ける

鉄板の上を軽やかに動き回りながら、数字や線を書き込んでいく。暗号のような印の数々は、鉄板の切断・加工位置などを示す重要な手がかり。わずかな誤差も許されません。真剣な表情で手を動かしているのが、入社4年目の土山さん。子育てが一段落し、「手に職をつけて、長く働ける仕事がしたい」と職人の門を叩きました。

女性社長、先輩、家族。
“今”があるのは、
周りのおかげ

スウォールを選んだのは、女性社長の存在が大きかったから。造船には過酷なイメージがあったそうですが、社長の人柄に惹かれ「ここでやってみよう」と決心。子供の都合に合わせて出勤時間を遅くしてもらったり、夜は薄暗くなるトイレに照明をつけてくれたり、女性目線で熱心にサポートしてくれているそう。

これまでスーパーや飲食店などいろいろな仕事を経験してきましたが、「この仕事はやってみたら楽しくて。周りには驚かれましたけど、必要とされている感覚も味わえて、やりがいがあります」と充実した様子。

休日の楽しみは、地元のスッカークラブに所属する息子たちの試合観戦。「周りの人に支えられ、仕事もプライベートも目一杯楽しんでます」



ずっと
続けていきたい
私の居場所が、
ここにあった

Painting 塗装



現在岩淵さんが作業している船



すがまこう業有限会社
岩淵 智美さん

塗装工と息を合わせて作業します

塗装に絶対必要な役割

現在ネタ番をしている岩淵さんも、この仕事に就くまでどんな仕事かまったく知らなかったと言います。船の塗装は厚さをマイクロミリサイズで測るほど厳密な正確さが要求されますが、それは船の塗装が鉄板を劣化から守る大事な役割を担っているからです。

船外に設けられた作業小屋からパイプを通じて船内や船上で作業する塗装工に設計指定通りのペンキを供給する仕事なのですが、「塗り屋さん（塗装工）によってペンキの減り方が違うので結構神経使います。上手な人はペンキを無駄なく使うけど、初心者は減りが速かったり」とすがまこう業の岩淵さん。「ペンキがつくと取れないので、髪や服は防護必須」と毎月ワンコインでヤッケを購入し、仕事着として着用しています。

15時で終了の時もある

ネタ番自体は資格が必要ないので誰でもできる仕事だと言いますが、ペンキの供給がもたついたり遅れたりすると作業がストップしてしまうので、責任があります。

シングルマザーの岩淵さん、朝8時半に現場に直行し、10時に小休憩、昼に1時間休憩。

「現場の塗装が終了したらその日の作業はおしまいです。15時に終わることもけっこうあります。時間が遅くなることはほとんどないので、子どもたちの面倒見るのに助かっています」

子どもの急な病気の時も皆が協力して代役に入ってくれる、重いペンキを運んでくれるなど、同じ現場の人たちが優しく支えてくれる、と岩淵さん。

「私と同じように子育て頑張らないといけない人に、働きやすい環境だと思えます。最初に私が働いた船の進水式はもう感動して、動画を撮り、子どもたちに見せたら大喜びでした」



ソーワエンジニアリング株式会社
太刀掛 佑華さん



ちょっとしたオシャレも♪



職場では作業着でも出勤中はデシグアルの服で

「呉で生まれ育ったので海が好きで、休日の趣味もやっぱり海釣り。転職して1年です。今は船の塗装（下塗り）の仕事をしています」という蔭山奈美さん。この職場に入るまで現場仕事の経験はなかったそうですが、「先輩で船の仕事をしている女性がいるので『時間もきっちり、残業もほぼないし、男性も皆親切よ』と。外から見たイメージと違ってすごく新鮮で『空気が出たら教えてください』とお願いして、念願叶ったの転職でした」（蔭山さん）

作業中は機能優先の服装ですが、ロングヘアにネイル、エスニックテイストのポシエットと、作業着の着こなしもどこことなくおしゃれ。デシグアルというスペイン発ブランドが大好きで、通勤はそれで。出社後作業着にパッと着替えて」とメリハリのある生活を楽しんでいるようです。

子どもの発熱にも

周りからの温かい助け

塗装が好きで建築現場からスタートし、船舶の塗装にたどり着いたという太刀掛（たちかけ）佑華さん。全体の塗装はスプレーだけけれど、塗りがきれいな部分をはけで細かく塗っていくのが仕事です。船の塗装はインテリアの塗装とは違い、鉄板から何ミリという指定の厚さが必要。塗装の厚さが船の機能を左右するからです。

「船の塗装は基準がシビアですが、その分完全にチームワーク。私は4歳の小さい子どもがいるので急な発熱など保育園のお迎えが必要なことも多いけど、チームのみんなが『気にせず帰りなさい』と背中を押してくれる。女性の多い職場だとスッカリせず気になることもあったけど、今ほとんど仕事やりやすいですよ」



ソーワエンジニアリング株式会社
蔭山 奈美さん

Cutting 切断



それぞれ性格は違うけど、仲はいいんです！



花谷建設株式会社
藪内 美佐子さん / 浦部 三枝子さん / 森 絵梨香さん

ベテランから若手
まで。4人の女性
が活躍中

男性の多い造船業界ですが、花谷建設では現在、4人の女性が活躍しています。在籍10年を超える浦部さんと藪内さん、それに入社2年目の森さん（1人は産休中）。彼女たちの仕事は、アイトレーサー。ガスで鉄板を自動切断する機械を使いながら、大きな鉄板から大小様々な部材を大量につくる仕事です。

給料よし、ストレスなし！自分のペースで働ける

浦部さんが感じるこの仕事の魅力は、ずばり「給料がいいこと」「例えばスーパードパートで働くよりも、断然いいですよ」と長く働き続ける理由を率直に話してくれました。「自分のペースで、コツコツやれるのがいいですね」と話す藪内さん。長くサービスをしてきたそうですが、ここでは対人関係のストレス

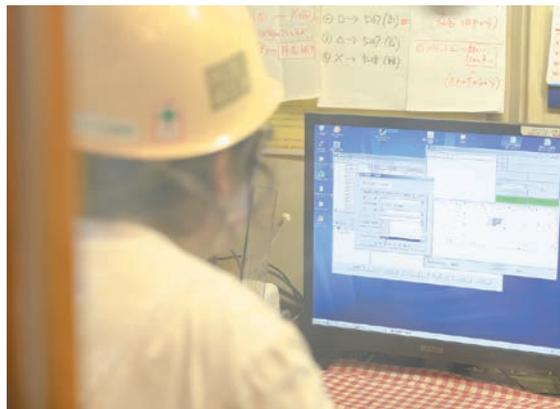
を感じることはないそう。「サービス業と違って、お盆や年末年始などにまとまった休みをとれるのも魅力です」

一方、森さんは入社したばかりの新人。機械の操作をはじめ、まだ仕事を必死に覚える日々ですが、先輩2人の背中を追いかけてながら「早く一人前になりたい」と張り切っています。2歳になった育ち盛りの子供のためにも、ママは懸命に働いています。



どんな形の部材、何個つくるのか。機械の動きをチェックしながら、大量の部材を切り出していく。

Cutting 切断



巨大な装置を自在に操りながら、大きな鉄板の上に切断線などを印字していく。それが、小澤さんの仕事です。

やりたいことに
挑戦するのが一番！



三矢工業株式会社
小澤 紀子さん

“機械”と
“頭”を使う仕事
「私に向いている」

設計部から送られてきた
図面データをパソコンで
チェックし、必要な情報を入
力すれば、あとは機械が自動
で動いてくれる。製造現場の
仕事と聞くと、溶接や重い
荷物を運ぶ作業をイメージ
しがちですが、小澤さんの場
合はむしろ「機械」と「頭」を
使う仕事。鉄板をクレーン
で運ぶ人、切断線に沿って
切る人。全体の工程を見極
めながら、機械をちょうどい
いタイミングで動かす。「一
連の流れが順調に進んで目
標を達成できたとき。それ
がうれしい瞬間ですね」
この業界に入ってから約20年。
「この仕事は私に向いている」
とすっかり自分のポジション
を確立したようで、「性別
にとらわれず、自分のやり
たいことをやるのが一番だ
と思います」と力強く語って
くれました。

一人仕事、
やりがい十分です

美容師→溶接→今の職務へ

「佐伯には造船姉妹がいる！」
と聞いて市内の壽工業さんへ
やってきました。姉の寿子さ
んが担当するのはアイトレ
サーとマーキン。アイトレ
サーはコンピューターで鉄板
を切断する仕事で、マーキン
は鉄板の上に設計図を描いて
いく仕事です。

「溶接はチームで動くけど、
この2つの職務は一人仕事。
図面から鉄板に写すのも機械
がやるから難しくない」と笑う
寿子さん、おしゃやかな人だなあ
と思っていたら元々は美容師
をしていたのだとか。

「好きだったんだけど薬剤ア
レルギイが出てしまって。未
練があつたのでバイトしなが
らふらふらしてたんですが、
職業訓練校で溶接の訓練を受
けて、最初は溶接工として会
社に入りました」

しかし、ある日鎖骨を骨折。
「溶接は重いケーブルを持つ
ので鎖骨にキツイなど。で、
体に負担の少ないアイトレ
サーに職務替えしました」

5ミリが大きな結果の違いになる

アイトレサーは重いもの
を運ぶ場面がなく、素材とな
る鉄板もクレーンで運ぶ担当
者がいるのです。
「やってみたらこの仕事はワ
ガママな私に合っていました。
切り出した時の5ミリの違い
が、船という大きなものに組
み上がった時に1メートルの
違いになるかもしれない。こ
こでこだわらんと現場が困
る、と違って丁寧に作業して
います」

女性ならではの細やかさだ
な、と感じたのは、寿子さん
が鉄板にチヨークで書いてい
くメモ。このメモも寿子さん
が考えたのだとか。
「いちいちあっちの現場行っ
てこっちの現場に申し送りし
て、ってやるより、メモを書
いたほうが効率いいからね」
仕事安定しているのので、
休日にもつばら愛犬が走る
ドッグランを造る準備をして
いるそうです。



溶接焼けには
SPF50必須

壽工業株式会社
山内 寿子さん



Welding 溶接

造船所の仕事で余裕ができたので、余暇は米作りに挑戦したいと考えていると、夢を話してくれました。

八寿世さんがやっている仕事は半自動溶接。軽いステンレスの溶接と重い鉄板の溶接は同じ溶接でも勝手がかなり違ったそうです。

「男性と比べると力はないですが、一聞いたら三十教えてくれる先輩がいたり、重いものを扱う作業は男性の同僚が率先してやってくれる」と言います。

「前の職場は室内作業だったので、造船所の仕事は屋根はあるけど屋外。だから体が自然にきちんと順応するようにになって健康になったんですよ。自律神経失調が治っちゃいました」と笑う。

とはいえ、7キロもあるワイヤーを持ち、真夏には1日で3キロ痩せることもある仕事ですが、八寿世さんはここに言いいます。「仕事で体力づくりしてると考えればぜんぜん大丈夫ですよ」

仕事で体力づくりしている

「佐伯の地元で何か仕事をしようと考えた時に、父も母も、さらに言えば祖父もそういえば船に関係していたな、と。ものづくりに携わりたかったので専門学校へ行って溶接技術を身につけ、最初は企業や工場向けのステンレス機材会社に就職しました」

「溶接は自分に向いていたみたいで企業から直接指名を受けることが増えてきて。残業が増えてきた時期に、ちょうど介護が始まったので、すごく無理をしていました」

そんな時「同じ溶接でも造船所は体力的にはキツくなるけど、時間はきっちり終わるよ」と聞き、転職したのだとか。

「本当にきっちり終わって残業がほとんどないので、転職して満足しています」

同じ溶接でも残業ナシの会社

介護のため融通が効く職場へ



美容・アパレルから 転身。30代で見つけた 理想の仕事

「溶接の仕事は楽しいですよ。自分の持ち場に集中する。ストレスもなく、私には向いてますね」

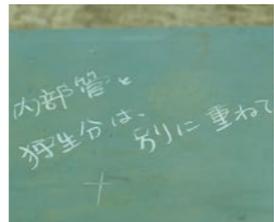
浜岡船舶工業の長岡さんはここで、自分に合った仕事を見つけてました。初めての仕事は、美容業界。その後は、アパレルで接客・販売を経験しました。福岡で暮らし、好きなことに熱中した20代。でもあるとき、将来のことを考えて地元・西海市に戻ってきました。父が経営する会社を継ぐことも見据えて、造船業界へ。「作業も着たことがないし、まったく知らない世界」と最初は不安もあったそう。でも、周囲の温かいサポートにも恵まれ、溶接の仕事がどんどんおもしろくなってきたといいます。

接客・販売と違って、溶接は「1人で集中して打ち込めるのが魅力」30代になって、理想の仕事を手にしたのです。

毎日忙しいけど、
とても充実しています！



有限会社浜岡船舶工業
長岡 雪乃さん



人見知りな人も
皆が助けてくれます



壽工業株式会社
山内 八寿世さん

Welding 溶接



女性でも活躍できる現場あり！
業界の体制も変わってきてますよ♪



有限会社中尾工業
中島 真由美さん / 徳永 久仁子さん



「溶接は奥が深い」と徳永さん。その分、やりがいがあるそう。

原動力は「モノづくりが楽しい」

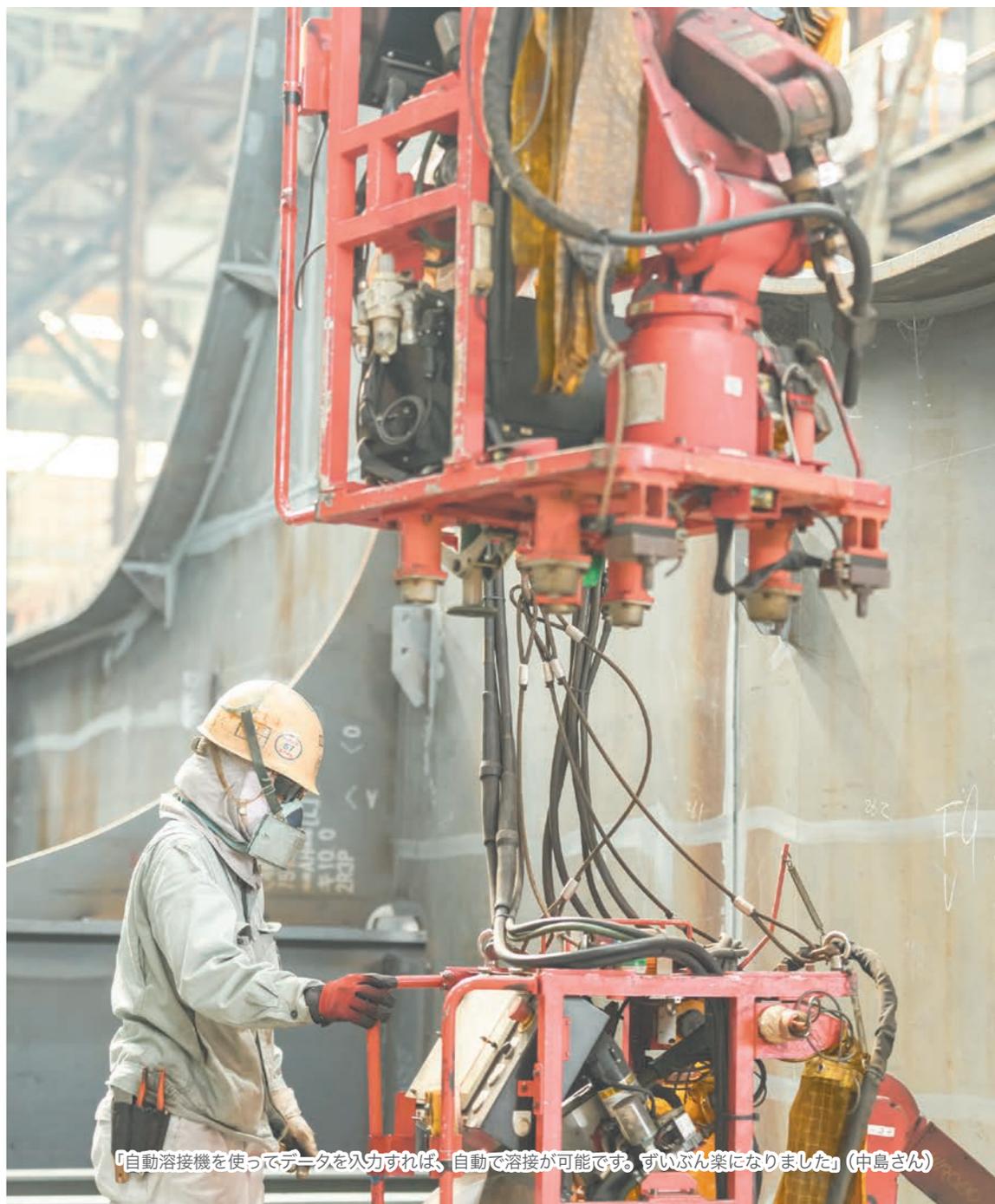
中尾工業の徳永さんは入社25年のベテランで、溶接一筋のプロフェッショナル。60歳を過ぎても現役で活躍中です。原動力は、「モノづくりが楽しい」という思い。気温や湿度、風によって仕上がりが微妙に変わっていくという溶接。「筋縄ではないが、奥が深いんです。でもその分、きれいに仕上がったときの達成感は大きいですね」

ウオシユレットに、女性専用の休憩室進む「女性にやさしい」職場づくり

「わからないことは、全部教えてくれるんです」徳永さんの横で、そう話してくれたのは中島さん。仕事だけでなく、昼休みや仕事終わりによく談笑し合う仲だそう。まるで姉妹のよう。長くこの業界で働く2人は、造船所の「ある変化」を目の当たりにしてきました。

女性が働きやすい環境づくりが、今どんどん進んでいるというのです。「私が働き始めた頃と比べると、もう全然違いますよ」（徳永さん）、「トイレはウオシユレットですし、女性専用の休憩所ができたのも大きいですね。ガスコンロや冷蔵庫、レンジもあって、ゆっくりくつるげらんです」（中島さん）

未経験で入社しても、経験豊富なこの2人がいれば安心です。「来てくれたら大歓迎。しっかりサポートしますよ」（徳永さん）



「自動溶接機を使ってデータを入力すれば、自動で溶接が可能です。ずいぶん楽になりました」（中島さん）



人がいい職場
だから続けられる

有限会社東工業
河野 明美さん



溶接という仕事がつないでくれた人生を大事にする河野さん

造船溶接37年。 一生続けられる 仕事です

シングルマザーも子育てができた

現役の溶接女子に67歳(！)の女性がいます、と聞いて、会いに行ってみました。河野さんは造船所歴37年。シングルマザーになるまでは就業したことなかったのだとか。

「子ども2人養えるよう、お金がちゃんと稼げて、子どもの生活時間に家について家事もできる仕事を探し、溶接工になりました。最初は陸ものの溶接をしとったんやけど、工場が遠くて残業もあったから、『造船所のほうが近いし、いいよ』と

人に勧められて転職。それから37年やから、長いねえ」

ちなみにその当時は女性の溶接工は今よりも多かったそうです。通勤時間が短縮され、土日きっちり休める造船所で働き始めてから、河野さんは子どもを育てながら休日には親から就いた田んぼと畑も世話する、という余裕ができたのだとか(それにしてもすごいスタミナ！)

道具の進化で楽になった

河野さんが担当しているのは半自動溶接。最近やったものでは熊本から出港するフェリーがあったとか。道具の進化で作業効率上がり、昔より楽になっていると言います。「とはいえ防護服を着るので、



いい溶接ができた時の安藤さんの笑顔



見えないところは手鏡に写して溶接

見えないところも溶接する高い技術

Uターンをきっかけに溶接へ

引き渡しの時の唄が心に響く



達成感
ハンパないです

有限会社テクノス
安藤 真理子さん

「一番難しいのは甲板溶接。見えない場所もやっつけてしまう技術が必要」と聞いて、担当している安藤さんに仕事しているところをま

ず見せてもらいました。と、安藤さんが取り出したのは、小さな手鏡。パイプの裏の部分を手鏡に写し、そこをチチツと溶接。なんですとか、それ、すごすぎるんですけど！

「ここは船の居住区なんですけど、その配管はこういうふうに入り組んでいて手や体が入らないことが多いんです。なので、いつも手鏡やニッパー、モンキーなど溶接できる場所を確保できるような小物が必需品なんですよ」とニ

カツと笑う安藤さん。元々東京で普通のOLをしていたそうですが、Uターンを機に職業訓練校に通い、溶接の資格を取得。造船所で働き始めました

が、「もっと技能を高めたくなり」一度造船所を辞めて配管溶接の資格も取得したのだとか。



船の引き渡しの時に「ほたるの光」の曲を流すのが通例だそうです、それが安藤さんにとっての最高の瞬間だそうです。

「見えない場所もなんとかして溶接を終えろと『やったぜ!』という達成感がハンパないです。この仕事を始める前は危ないっていうイメージが自分にもありましたが、やらされている感がない仕事で、自分に合っているんじゃないかな」

夏はやっぱり暑いですよ。真夏日には体重が数キロ減ることもある。私も歳が歳なので夏が乗り切れれば、あと1年仕事できるかなあと思う」

67歳が一応の定年だったの

と河野さんは言います。

「造船所はとにかく人がいいんです。昔の時代だって、今で言うセクハラとかみじんもなく、対等に仲間として扱ってくれた。技術もさりげなく教えてくれてね、休みの日には『釣りでようけイカが釣れたけん、取りに来いや』と電話してくれたり。結局仕事は人や、と思うんですわ、私」



「大変な仕事でも、家族のためならがんばれる」

デニム生地のおしゃれな作業着が印象的な日電の橋田さん。小柄な体格を生かして船体ブロックの中にスッと入り込み、器用な手つきで溶接していきます。

入社のおかげは、同じ職場で働く夫の紹介でした。家も職場もずっと一緒。「嫌だっていう人もいるけど、私はまったくストレスじゃありませんね」2人の仲の良さが目に浮かんできます。

原動力は、家族の存在です。18歳と小学5年の子供はまさに育ち盛り。子供の

将来を考えると、「現場に出れば男性と同じ給料でしっかり稼げる。パートで働くよりも条件は断然いい」というこの仕事は魅力で、だからこそ大変なときもがんばれる。そう力強く話してくれました。



女性でも技術をつければしっかり稼げます！

有限会社日電
橋田 みほろさん

Woman's voice 意外と！ここがよかった造船業

男性社会のイメージですが、実際のところは？



「今は現場の女性は私だけというのかもしれませんが、男性では気付かないことなど意見を言いやすいですね」
（大同塗装株式会社 柴田法枝さん）
「時間もきっちり、残業もほほえないし、男性も皆親切よ、と。外から見たいメージと違ってますごく新鮮で『空きが出たら教えてください』とお願ひして、念願叶っての転職でした」
（ソーワエンジニアリング株式会社 陸山奈美さん）

「男性と比べると力はないですが、一聞いたら三十教えてくれる先輩がいたり、重いものを扱う作業は男性の同僚が率先してやってくれる」
（壽工業株式会社 山内八寿世さん）

「私が働き始めた頃と比べると、もう全然違いますよ」
（有限会社中尾工業 徳永久仁子さん）

「トイレはウォッシュレットですし、女性専用の休憩所ができたのも大きいですね。ガスコンロや冷蔵庫、レンジもあって、ゆっくりにくつる感じです」
（有限会社中尾工業 中島眞由美さん）

女性だからこそ、活躍できた場面は？

大きな針を使って、グラスファイバーを包んだ布を縫っていく。造船＝鉄工のイメージですが、船体を使う保温材も大事な部品のひとつ。ここで長年洋服の縫製に携わってきた技術を活かして働くのが、尾方京子さんです。まだ入社1年目ですが、手つきは熟練です。
（有限会社平山保温工業所 尾方京子さん）

女性ならではの細やかさだな、と感じたのは、寿子さんが鉄板にチヨークで書いていくメモ。このメモも寿子さんが考えたのだとか。

「いちいちあっちの現場行ってこっちの現場に申し送りして、ってやるより、メモを書いたほうが効率いいからね」
（壽工業株式会社 山内寿子さん）

やりがいを感じる瞬間や、仕事の魅力は？

原動力は、「モノづくりが楽しい」という思い。気温や湿度、風によって仕上がりが微妙に変わってくるという溶接。「一筋縄ではいかず、奥が深いんです。でもその分、きれいに仕上がったときの達成感は大きいですね」
（有限会社中尾工業 徳永久仁子さん）

これまでスーパーや飲食店などいろんな仕事を経験してきましたが、「この仕事はやってみたら楽しくて。周りには驚かれましたけど。必要とされている感覚も味わえて、やりがいがあります」
（株式会社スウォール 土山千春さん）

この仕事の魅力は、やはり「給料がいいこと」「例えばスーパーでパートで働くよりも、断然いいですよ」
（花谷建設株式会社 浦部三枝子さん）

「自分のベースで、コソコソやれるのがいいですね」
「サービスマスターと違って、お盆や年末年始などにまとまった休みをとれるのも魅力です」
（花谷建設株式会社 数内美佐子さん）



仕事と家庭の両立は？

「育休産休の制度がきちんとしている職場を探しました。参観日など子供の行事でも休みが取れます」
（三友興業株式会社 牧野久美さん）

「家庭と子供がいちばん！」そう言い切る柴田法枝さんは、高校生・中学生・小学生と3人の子育て中。片手で楽々とフォークリフトを操作する姿は、まさに肝っ玉母さんです。フォークリフトの資格もここに勤めてから取得したそう。
（大同塗装株式会社 柴田法枝さん）

授業参観など、子供の行事を優先してくれる会社の理解もあり、家族と過ごす時間も楽しんでます。
（株式会社日本冷熱 松本光子さん）



造船業で仕事も暮らしも楽しもう

ご協力頂いた企業様

(株)ただに工業 〒737-1201 広島県呉市音戸町坪井2-15-13 TEL(0823)52-1463 / **イワキテック(株)**因島工場 〒722-2102 広島県尾道市因島重井町474-7 TEL(0845)25-1145 / (株)大之木ダイモ 〒737-0027 広島県呉市昭和町2-1 TEL(0823)25-6530 / (株)岡本製作所 〒722-2102 広島県尾道市因島重井町474-3 TEL(0845)25-1188 / 山九(株) 〒706-0012 岡山県玉野市玉3-1-9 TEL(0863)32-3911 / 三友興業(株) 〒706-0012 岡山県玉野市玉3-1-9 TEL(0863)32-2111 / ソウワエンジニアリング(株) 〒658-0025 兵庫県神戸市東灘区魚崎南町2-8-28 TEL(078)452-6431 / 大同塗装(株) 〒706-0012 岡山県玉野市玉3-1-1 TEL(0863)21-2523 / (有)平山保温工業所 〒706-0012 岡山県玉野市玉3-1-1 TEL(0863)31-5225 / (有)東工業 白杵市大字中津浦1 TEL0972-62-2656 / (有)大分総業 白杵市大字井村2018 TEL0972-63-3504 / 壽工業(株) 佐伯市木立6265-1 TEL0972-28-3316 / (有)三幸冷熱 佐伯市西浜6-3 TEL0972-28-5140 / すがまこう業(有) 佐伯市7617-2 TEL0972-23-7310 / (有)テクノス 白杵市大字板知屋1-12 TEL0972-62-5065 / 長崎船舶装備(株) 長崎市西琴平町1-5 TEL 095-824-4411 / (有)日電 西海市大島町馬込1605-1 TEL 0959-34-4054 / (株)日本冷熱 長崎市元船町14-10 TEL 0972-28-3316 / (有)浜岡船舶工業 西海市大島町1918-13 TEL 0959-34-2860 / (株)スウォル 玉名郡長洲町大字有明1 TEL 0968-78-5007 / (有)中尾工業 玉名郡長洲町大字有明1 TEL 0968-78-6834 / 日本冷熱工業(株) 玉名郡長洲町大字有明1 TEL 0968-78-5593 / 花谷建設(株) 玉名郡長洲町大字有明1 TEL 0968-78-2596 / マルサン船舶工業(株) 玉名郡長洲町大字有明1 TEL 0968-78-1999 / 三矢工業(株) 玉名郡長洲町大字有明1 TEL 0968-78-1110



RECRUIT JOURNAL
<https://nichizo-rj.jp/>